

# 勝本浦の「海業」による港町づくり ～魅力的かつ持続可能な地域産業の創出～

あそびのみなとプロジェクト（漁業×みなと） チーム

PM：産業推進部長 松嶋要次、市民部長 吉田博之

PL：水産課長 山内英樹、商工振興課長 安永多十



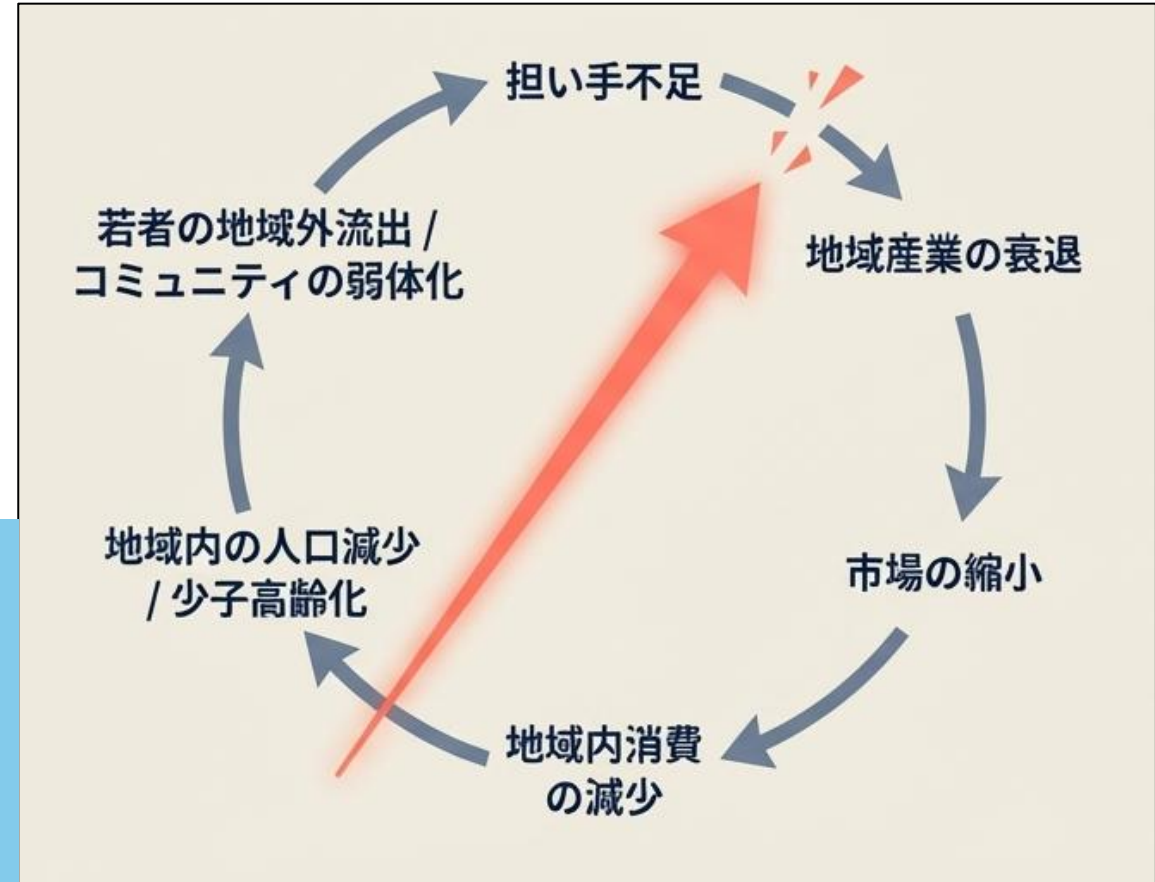
## 港町を取り巻く「負のループ」からの脱却

担い手不足が漁業の衰退を招き、  
それがさらなる人口流出を生む。

この「負のループ」をどこかで断ち  
切る必要があります。



“「海業」による港町づくり”  
に取組み、魅力的かつ持続可能  
な地域産業を生み出します。



# 海業がもたらす地域産業の活性化

豊かさの循環により、地域全体で産業を高めます。

※海業とは、海や漁村に関する地域資源と港を最大限に活用し、地域の賑わいや所得と雇用を生み出すことです。



# 勝本浦に眠る地域資源①

## ○辰の島遊覧船



美しいエメラルドグリーン的大海と絶景の断崖絶壁を抱える辰の島をめぐる。利用客は県外客が多く、年間2万人を超え、重要な観光資源の1つです。

## ○クロマグロ



勝本港は、全国的にクロマグロの水揚げ港として有名です。長崎県の大規模なクロマグロは全国3位で、壱岐はその長崎県内のシェアを7割も占めています。さらに壱岐の7割を勝本港が占めており、圧倒的なブランド力があります。

勝本港の周辺海域は、対馬暖流分岐流と九州沿岸流が交流し、七里ヶ曾根・平曾根などの好漁場に恵まれ、イカ類やブリ、タイ釣り漁が盛んです。

## 勝本浦に眠る地域資源②

### ○朝市



単なる売場ではなく、地元の人と観光客が触れ合う大切なコミュニティの場です。長い歴史があり、人気も高く、「朝市」の名称が深く浸透しています。

### ○その他周辺の地域資源

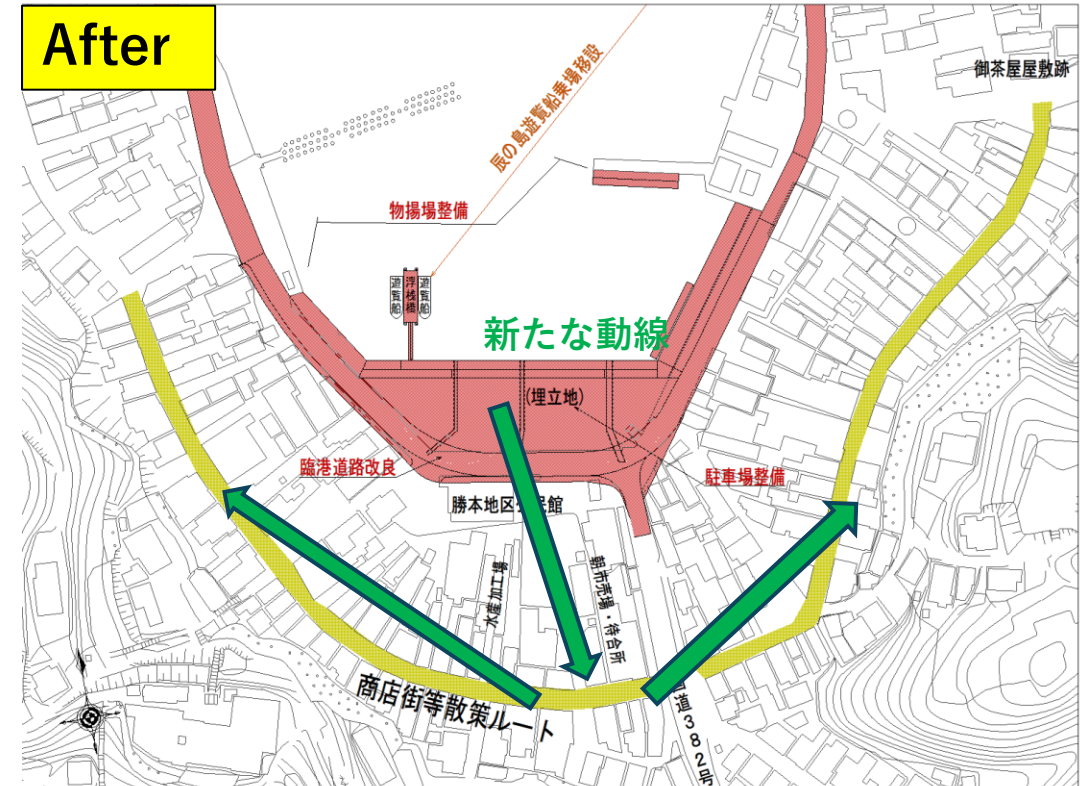
- 県内最古に近い聖母宮など、神社仏閣が29箇所
- 河合曾良の石碑など、石碑が7箇所
- 鎌倉時代の元寇関連や勝本浦が昔鯨の基地であったことを示す御茶屋敷跡など、遺跡が13箇所
- 安土桃山時代の朝鮮出兵の基地となった勝本城跡
- イルカパーク、串山海水浴場・キャンプ場 など

# 「勝本浦海業」の起爆剤

辰の島遊覧船乗場の移設により、新たな動線を生み出します。



辰の島遊覧船乗場が、商業エリアと離れていることから、相乗効果が生まれていませんでした。また、商業エリアには駐車場のスペースが少なく、不便でした。



勝本地区公民館前の湾内に、辰の島遊覧船乗場を移設し、物揚場を整備するとともに、埋立により駐車場を整備します。

# 「勝本浦海業」の戦略骨子


辰の島遊覧船の利用客に「勝本浦を歩き、食べ、滞在してもらう」



< 既存の地域資源 >

- ・辰の島遊覧船
- ・クロマグロ
- ・朝市
- ・その他周辺の地域資源

+



< 海業の仕掛け >

- ・埋立地（建物＋駐車場）
- ・観光消費を拡大する取組
- ・滞在時間を延長する取組
- ・情報を発信する取組  
など

=

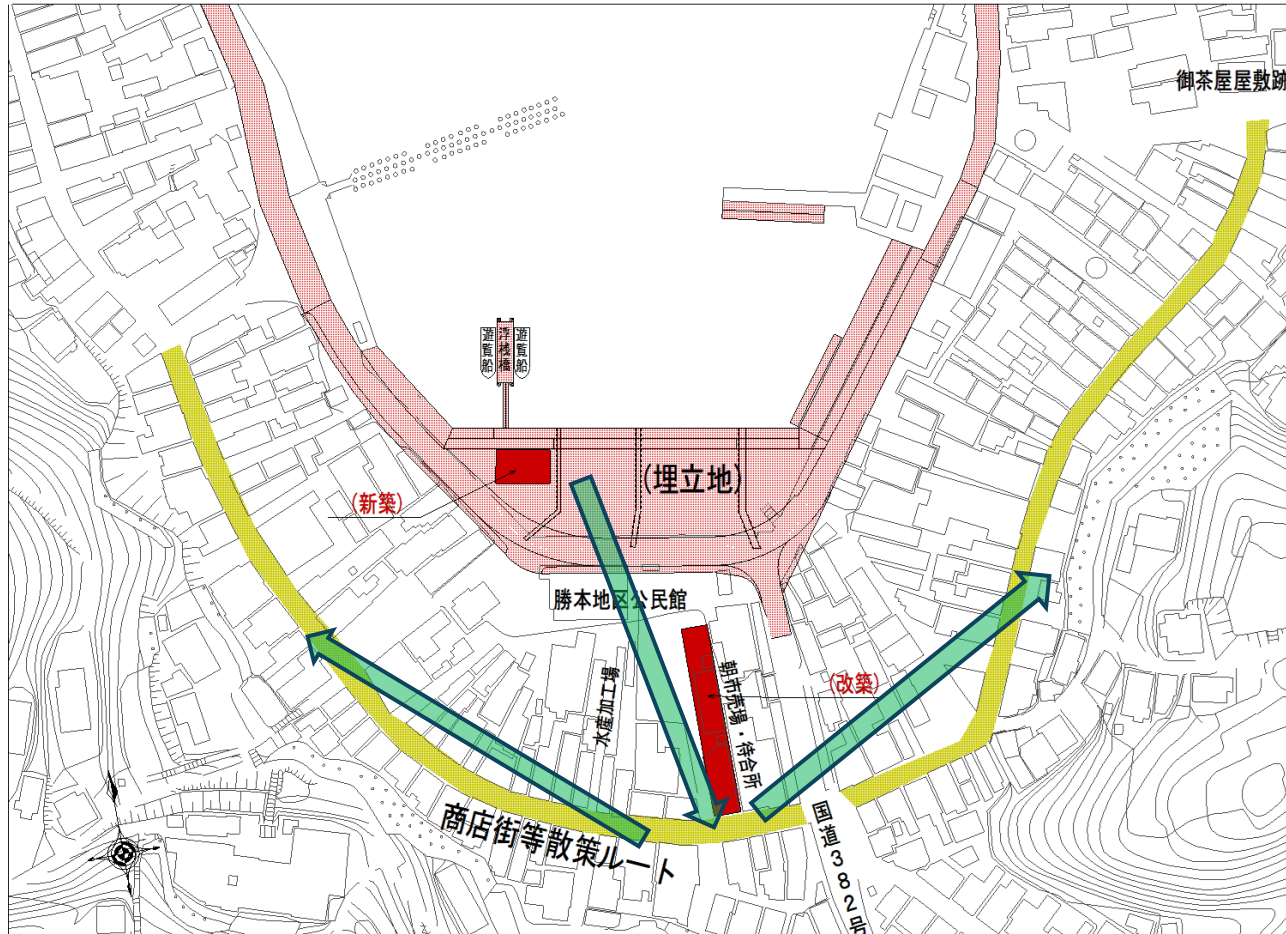


< 目指す勝本浦の港町 >

（遊覧船に乗るだけで  
終わらず、勝本浦を  
歩き、食べ、滞在する）

# 新たな動線の構築

埋立地を中核とし、辰の島遊覧船利用客を商店街等散策ルートへと誘う  
新たな動線を構築します。



## < 埋立地（建物＋駐車場） >

- 建物の新築  
→切符売場、待合所、トイレ、シャワー施設、荷物預り所
- 駐車場の整備  
→大型バス用のスペース確保（イベント用としても活用）

## < 観光消費を拡大する取組 >

- 朝市売場の改築  
→朝市スタイル（対面販売）を残し、常時駐在が難しい販売ニーズにも応え、マリンパル方式（展示販売）に対応する快適で魅力的な空間へリニューアル

# 海業としての仕掛け

新たな動線の構築とともに、効果を促進する様々な仕掛けも展開します。



## <観光消費を拡大する取組>

- 鮮魚直売所（特にマグロ）
- 遊漁船業
- 釣り体験
- 観光定置網体験
- 釣り堀
- イベントの実施
- 食べ歩きのための新規出店  
など



## <滞在時間を延長する取組>

- 散策ルートの設定及び資料  
配布
- 時間帯を分散させたコンテ  
ンツの充実
- 渚泊（民泊）を活用した宿泊  
滞在の推進
- 空家の活用（展示等）
- 壱岐チャリの活用



## <情報を発信する取組>

- 多言語対応ホームページ  
（遊覧船の運航状況や地域・  
イベントなどの情報、プロ  
ジェクトの進捗状況などを  
掲載）の構築
- 現地案内板の設置
- 地域を語るローカルガイド  
の育成

# 観光空白の時間帯「朝」に着目したコンテンツの充実

漁協競り、勝本朝市、朝食やランチなど、朝時間のサービスを充実させます。



早朝の活気に満ちた漁協の競りを見学。



新鮮な海の幸を使った朝食を堪能し、歴史ある朝市で、地元の人と会話しながら、朝市を楽しむ。



朝市で買った食材や勝本浦自慢のマグロなどの絶品ランチを堪能する。



辰の島遊覧や点在する神社など、勝本浦の歴史などにも触れる散策ルート歩く。

【これまで】滞在時間：1～2時間のみ（朝市か船のみ）



【これから】滞在時間4～6時間や宿泊へ

経済効果：一人あたり5,000円～15,000円程度の観光消費（朝食・お土産・体験）を目指します。

辰の島遊覧船利用者を増加させ、仮に3万人が勝本を訪問するとした場合、観光消費1.5億円～4億円が見込まれる。

## 実際に勝本浦で稼ぐ人たちへの支援

プロジェクト実現には、整備だけではなく、実際に稼ぐ「人」が最も重要です。そのため、市は事業者に対し、様々な形でバックアップします。

### 【ファシリテーターの確保】

勝本浦で事業を実施する人材を発掘・募集し、様々な支援制度の活用を提案します。

### 【観光消費の分析】

辰の島遊覧船利用客のターゲット層やニーズ、動向などを把握するため、アンケート・データ調査を実施し、共有します。

### 【実証実験による検証】

本格展開前にモニターツアーやプレイベントを通じた実証実験を複数回実施し、リスクを最小化します。

### 【支援制度の活用】

事業者の策定した事業計画に基づき、積極的に補助や助成などの支援制度をマッチングします。

# プロジェクトのロードマップ

このプロジェクトは、実現に向けて着実に進んでいます。勝本浦に関わる皆様と行政が一体となって、段階的に新しい港町の形を作り出します。

## 2025年 (令和7年度)

- ・先進地視察等
- ・意見聴取
- ・事業計画(建物)の策定

## 2026年 (令和8年度)

- ・事業計画(全体)の策定
- ・建物の設計
- ・埋立地の水路工事

## 2027年 (令和9年度)

- ・埋立地内の整備(建物等)
- ・浮棧橋の設置
- ・実証実験等本格展開に向けた準備

## 2028年 (令和10年度)

- ・移設先での辰の島遊覧が運用開始され、**本格展開開始**
- ・朝市売場など改築
- ・以降取組を随時実施

※適時協議会を開催し、皆様の声を聞きながら進めています。

# 勝本浦部活性化推進協議会

- 目的 : 勝本港の埋立地等の整備に関して、関係者の意見を調整し、関連する具体的な施策を検討する。
  - 名称 : 「勝本浦部活性化推進協議会」
  - 主体 : 勝本町漁業協同組合（協議会会長は組合長）
  - 構成員 :
    - ・ 勝本町漁業協同組合
    - ・ 勝本浦部地区公民館連絡協議会
    - ・ 壱岐市商工会勝本支部
    - ・ 商工会女性部
    - ・ 勝本浦まちづくり協議会
    - ・ 勝本朝市加工組合
- (オブザーバー)
- ・ 長崎県壱岐振興局
  - ・ 壱岐市
- 他

## これまでの開催実績

- ・ 第1～6回勝本浦部活性化推進協議会(平成29年～令和2年)  
※主に物揚場や埋立地の整備計画について
  - ・ 第7回勝本浦部活性化推進協議会(令和7年2月25日)
  - ・ 第8回勝本浦部活性化推進協議会(令和7年5月27日)
  - ・ 第9回勝本浦部活性化推進協議会(令和7年7月11日)
  - ・ 第10回勝本浦部活性化推進協議会(令和8年1月9日)
  - ・ 第11回勝本浦部活性化推進協議会(令和8年3月27日)
- (分会)
- ・ 商工会等会議(令和7年10月8日、11月6日、11月27日)
  - ・ 勝本町漁協会議(令和8年1月26日、2月17日、3月19日)
- (地元説明会)
- ・ 勝本浦部公民館(令和8年2月17日)
- (視察)
- ・ 先進地視察①(福井県高浜町)(令和7年7月29日～7月31日)
  - ・ 先進地視察②(福岡県宗像市、北九州市、佐賀県唐津市)  
(令和8年2月13日～2月14日)
- (Web会議視聴)
- ・ 海業推進協議会 トーク&トーク「まちに元気を！」in富山  
(令和7年10月29日)
  - ・ 第3回海業推進全国協議会(令和8年1月22日)